

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	1単位・ 30時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	小児看護学Ⅱ 健康障害のある小児の看護			授業形態	講義
担当教員	金川真理		実務経験	○看護師 助産師	
授業概要	小児期に出現しやすい健康問題や診断・治療に関する基礎的知識を学ぶことは重要である。子どもは健康障害を持ちながらも成長・発達を続ける。さらに、急速に変化しやすい症状をとらえ適切に看護に繋げることが求められる。子どもに特徴的な疾患を理解し、疾患の病態・症状・検査・治療と看護について学ぶ。また、成長発達段階における病気や障害が子どもと家族に与える影響を理解する。				
学習目的	小児期における成長・発達の特性や、子どもとその家族や環境（状況）による特徴的な疾病の経過と看護について学ぶ。また、障害のある子どもの特徴と家族への看護について学ぶ。				
到達目標	1. 小児期にみられる主な疾患の病態・症状・検査・治療について理解する。 2. 主な疾患の治療に伴う看護について理解する。 3. 疾患や障害が子どもおよび家族に及ぼす影響が理解する。 4. 子どもの事故や外傷に対する治療や看護を理解する。				
授業内容	1.2 染色体異常・体内環境により発症する先天異常の看護(出生前・後の看護 常染色体異常・性染色体異常) 3.4 内分泌疾患と看護(下垂体疾患・甲状腺、副甲状腺疾患・副腎疾患) 5.6 感染症と疾患(ウイルス感染症・細菌感染症・真菌感染症) 7.8 呼吸器疾患と看護(先天性喘息・上気道・気管支・肺・胸膜疾患) ； 9.10 循環器疾患と看護(先天性心疾患・川崎病) 11.12 消化器疾患と看護(形態異常のある疾患・腸重積症・急性胃腸炎) 13.14 血液・造血器疾患と看護(貧血・出血性疾患) 15.16 悪性新生物と看護(造血器腫瘍・脳腫瘍・神経芽腫・ウィルムス腫瘍・骨肉腫) 17.18 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護(糸球体、尿細管間質疾患・急性腎障害) 19.20 神経疾患と看護(先天異常・痙攣性疾患・中枢神経系の血管性疾患 脳性麻痺・急性神経疾患・筋疾患) 21.22 運動器疾患と看護(先天性股関節脱臼・先天性内反足・先天性筋性斜頸・ 脊柱側彎症・骨折) 23.24 皮膚疾患と看護(母斑・湿疹・皮膚炎群・細菌性皮膚疾患・真菌症・疥癬) 眼疾患と看護(結膜炎・眼瞼下垂・斜視・先天色覚異常) 25.26 耳鼻咽喉疾患と看護(先天性難聴・外耳、中耳、鼻、副鼻腔、咽頭、喉頭の疾患) 27.28 精神疾患と看護(発達障害・神経症・統合失調症・双極性障害・抑うつ障害) 29.30 事故・外傷と看護(頭部外傷・誤飲・誤嚥・溺水・熱傷・熱中症) 終講試験				
評価方法	筆記試験 (100%)				
教科書	系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 第15版 医学書院 2025				
参考図書 等	ナーシンググラフィカ 小児看護学 小児の発達と看護 メディカ出版				
備考					